

平成21年度
市民企画事業補助金
成果報告書



八王子市

平成22年8月

目次

1	市民企画事業補助金の概要	1
2	事業成果報告等の経過	2
3	審査委員会委員長講評	3
4	交付事業一覧表	4
5	事業成果報告	5
	(1) 生涯学習の集いイン八王子～コーディネーター会創立五周年記念～	6
	(2) あなたもメディエーター。 円滑なコミュニケーションとわだかまりのない日々の暮らしのために	8
	(3) ポレボジさぼーと	10
	(4) 要約筆記啓発講座	12
	(5) 地域ふれあい事業	14
	(6) 「家族で楽しむ物作り」体験教室	16
	(7) 発達障がいの子供たちへの理解、啓発・サポート事業	18
	(8) パフォーマンスママ「レインボーズ」	20
	(9) 「高尾山の花名さがし」花図鑑出版	22
	(10) 「ふるさと歴史カルタ」製作とふるさと意識の醸成	24
	(11) デイジー図書の作製	26
	(12) 高齢者を元気づける音楽会・落語公演会の実施	28
	(13) 認知症：集いの場&支援ネットワーク拠点をつくる	30
	(14) 脳とくらしの活性化「生き生きアート」による地域支援	32
	(15) 団塊世代向けフリーペーパー「古今人」のリニューアル発刊	34
	(16) 地球冒険学校交流セミナー	36
	(17) 絵と語り付きクラシックコンサート	38
	(18) 親子ふれあいキャンプ 2009	40
	(19) 市民参加型 援農活動による農業活性化	42
	(20) 「滝山城跡ハンドブック」の作成（出版）	44
	(21) パン作りで心もからだもリフレッシュ	46
	(22) 八王子学の体系化と八王子検定の実施	48
	(23) 八王子大江戸舞祭 2009	50
	(24) 越中八尾おわら風の舞 in 八王子（おわら風の盆）	52
6	成果報告会アンケート結果	54
7	交付団体連絡先一覧	59

1 市民企画事業補助金の概要

(1) 市民企画事業補助金とは

市民企画事業補助金は、市内で活動する非営利団体が、地域の課題の解決や、よりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する事業について、市がその経費の一部を補助するものです。

この補助金が有効に活用されるよう、補助対象事業は公募とし、厳正な審査を経て決定します。

(2) 補助の内容

補助対象事業は、以下の2部門に分けて募集し、決定します。応募することができるのはA活動支援部門、B事業実施部門、合わせて1団体1事業です。

	A 活動支援部門	B 事業実施部門
内 容	この部門では、すでに公益的な活動に取り組んでいる、又はこれから取り組もうとする団体の活動を紹介するために要する経費の補助をします。ただし、計画段階での事業費が5万円以上のものとします。	この部門では、市民活動団体が自立運営を目標に企画提案する事業や将来市と協働で実施する事業として企画提案するために試行する事業の実施経費の一部を補助します。ただし、計画段階での事業費が10万円以上のものとします。
補助金額	必要な経費の10分の10 (千円未満切り捨て、上限10万円)	必要な経費の2分の1以内 (千円未満切り捨て、上限100万円) 2回目以降は対象事業費の1/3以内又は前回交付決定額の80%のいずれか低い額。ただし、事業の性質上審査委員会で特に認めた場合は、とします。
補助回数	同一団体2回まで	同一の事業に対して3回まで

(3) 補助事業の採択

補助対象事業の審査は、市民企画事業補助金審査委員会により、応募書類に基づく書類審査、及び公開プレゼンテーション(事業実施部門についてのみ)を行うほか、継続事業については、前年度事業の進捗状況の内容も参考にした上で審査します。

また、審査委員会での審査に先立ち、応募事業の内容に関連する担当部による、面接等での応募書類の確認や事業内容の評価を行い、審査委員会での審査では、その結果やプレゼンテーションでの市民コメントも参考にします。

評価・審査項目は下表のとおりです。

区分	A 活動支援部門	B 事業実施部門
担当部による確認・評価	1. 公益性 2. 期待度	1. 政策合致性 2. 計画性 3. 八王子らしさ
審査委員審査	1. 公益性 2. 期待度 3. 補助金交付の必要性	1. 計画性 2. 社会貢献度 3. ニーズの高さ 4. 創意工夫 5. 補助金交付の必要性

本概要は21年度の概要であり、今後変更される可能性があります。

詳細は市のホームページをご覧ください。

市民企画事業補助金のホームページアドレス：

<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shiminkatudo/shiminkikaku/index.html>

2 事業成果報告等の経過

(1) 公開プレゼンテーション

日 時 平成21年2月10日(日)
13:00~18:00
場 所 クリエイトホール 5階ホール

参加団体 23団体

審査の一環として、事業実施部門に応募した全ての団体が、審査委員と一般市民の方々の前で、プレゼンテーションを行いました。



(2) 情報交換会

日 時 平成21年10月6日(月)
13:30~16:30
場 所 市役所 903・904・905会議室

参加団体 20団体

団体の抱える問題点の共有や、その解決の糸口を探るため、補助金交付を受けた各団体が一同に会し、情報交換を行いました。



(3) 成果報告会

日 時 平成22年6月5日(土)
13:30~18:00
場 所 北野市民センター ホール

報告団体 24団体

平成21年度に補助金を受け、実施された事業について、審査委員と一般市民の方々の前で、成果報告を行いました。



3 審査委員会委員長講評

市民企画事業補助金審査委員会

委員長 首都大学東京都市教養学部教授 和田清美

平成21年度市民企画事業補助金交付事業の成果報告会が、去る6月5日(土)午後、北野市民センターにおいて開催され、活動支援部門8事業、事業実施部門16事業の合計24事業の報告が行われました。1事業8分という限られた報告時間の中で、それぞれ個性をいかした工夫ある成果報告が順調に進み、予定した時間はあっというまに過ぎ、報告会を終えました。では、以下、審査委員長としての講評を述べさせていただきます。

第一は、本年度の活動支援部門ならびに事業実施部門の活動・事業は、全体として、成果があったと評価できます。報告では、総じて会員の増加数や活動・事業依頼数の増加、活動・事業への参加人数の増加、あるいは出版活動・事業では販売数の上昇など、その成果が示されました。今年の報告で印象的であったのは、複数の団体からの「思いがけない反応」や「予想外の展開」といった発言でありました。具体的には、自分たちの行った活動や事業に対する問い合わせや依頼があり、次の活動や事業の展開、拡大に繋がったという報告でした。これはいわば意図せざる結果ということでしょうが、本補助金交付終了後の活動・事業の定着や発展的拡大を予知させてくれたという点から、審査委員一同、大変嬉しく受け止めました。

第二は、本年度をもって7年目を迎えた成果報告会ですが、あらためて本事業の意義を再確認できた報告会でもありました。本補助金は、「市内で活動する非営利団体が、地域の課題の解決や、よりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する事業」に交付するものでありますが、今回報告された24の団体は交付金額の多寡にかかわらず、いずれも、その意義に適ったものでありました。詳しい個々の活動・事業内容については本報告書をお読みいただきたいと思いますが、その中には、新しい活動への果敢なチャレンジや、忙しい日常生活では見過ごしてしまいそうな、しかし市民生活にとって大事な活動や事業がちりばめられています。改めて「市民活動とは何か」を教えられた報告会でした。

第三は、今後の活動・事業の継続に関わって、二つの点を指摘しておきます。一つは、持続可能な組織基盤づくりの問題で、主には、資金と人材確保の問題です。この二つはどちらが欠けても組織は維持できません。本補助金は市民活動・事業の自立を支援する目的で交付されるものですから、本補助金交付事業の終了後を見据えた事業運営と人材育成を補助金交付期間中しっかりと行っていただくことを期待したいと思います。二つ目は、今後の活動・事業の方向性の問題です。報告では、主に地域的展開か、全市的展開かの二つが提起されていました。この判断は各団体によりなされることですが、いずれにしても、委員会としては、今後も継続して活動・事業が展開されること、そのために本補助金が有効に活用されることを切に期待するところであります。



成果報告会における審査委員講評の様子

4 交付事業一覧表

(単位 円)

部門	回数	事業名	補助対象事業費	補助金交付額	
活動 支 援 部 門	新	生涯学習の集いイン八王子～コーディネーター会創立五周年記念～	161,367	100,000	
	新	あなたもメディエーター。円滑なコミュニケーションとわだかまりのない日々の暮らしのために	118,174	100,000	
	新	ポレポジさぼーと	226,255	100,000	
	新	要約筆記啓発講座	109,165	100,000	
	新	地域ふれあい事業	108,172	100,000	
	新	「家族で楽しむ物作り」体験教室	114,740	100,000	
	新	発達障がいの子供たちへの理解、啓発・サポート事業	117,908	100,000	
			パフォーマンスママ「レインボーズ」	161,069	100,000
事業 実 施 部 門	新	「高尾山の花名さがし」花図鑑出版	1,253,756	400,000	
	新	「ふるさと歴史カルタ」製作とふるさと意識の醸成	707,607	275,000	
	新	デイジー図書の作製	206,275	102,000	
	新	高齢者を元気づける音楽会・落語公演会の実施	361,103	180,000	
	新	認知症：集いの場&支援ネットワーク拠点をつくる	1,886,138	943,000	
	新	脳とくらしの活性化「生き生きアート」による地域支援	226,108	113,000	
	新	団塊世代向けフリーペーパー「古今人」のリニューアル発刊	1,945,160	972,000	
	新	地球冒険学校交流セミナー	777,407	388,000	
	新	絵と語り付きクラシックコンサート	587,683	216,000	
			親子ふれあいキャンプ2009	1,881,448	627,000
			市民参加型 援農活動による農業活性化 -	610,210	150,000
			「滝山城跡ハンドブック」の作成（出版）	975,228	240,000
			パン作りで心もからだもリフレッシュ	240,768	80,000
			八王子学の体系化と八王子検定の実施	1,398,782	400,000
			八王子大江戸舞祭2009	887,289	266,000
		越中八尾おわら風の舞 i n 八王子（おわら風の盆）	2,107,460	640,000	

5 事業成果報告

(1) 生涯学習の集いイン八王子～コーディネーター会創立五周年記念～	6
(2) あなたもメディエーター。 円滑なコミュニケーションとわだかまりのない日々の暮らしのために	8
(3) ポレボジさぼーと	10
(4) 要約筆記啓発講座	12
(5) 地域ふれあい事業	14
(6) 「家族で楽しむ物作り」体験教室	16
(7) 発達障がいの子供たちへの理解、啓発・サポート事業	18
(8) パフォーマンスママ「レインボーズ」	20
(9) 「高尾山の花名さがし」花図鑑出版	22
(10) 「ふるさと歴史カルタ」製作とふるさと意識の醸成	24
(11) デイジー図書の作製	26
(12) 高齢者を元気づける音楽会・落語公演会の実施	28
(13) 認知症：集いの場&支援ネットワーク拠点をつくる	30
(14) 脳とくらしの活性化「生き生きアート」による地域支援	32
(15) 団塊世代向けフリーペーパー「古今人」のリニューアル発刊	34
(16) 地球冒険学校交流セミナー	36
(17) 絵と語り付きクラシックコンサート	38
(18) 親子ふれあいキャンプ2009	40
(19) 市民参加型 援農活動による農業活性化	42
(20) 「滝山城跡ハンドブック」の作成（出版）	44
(21) パン作りで心もからだもリフレッシュ	46
(22) 八王子学の体系化と八王子検定の実施	48
(23) 八王子大江戸舞祭2009	50
(24) 越中八尾おわら風の舞 in 八王子（おわら風の盆）	52

本書では、各団体の事業成果報告及びそれに対する自己評価を紹介していますが、原則として、団体から提出された原稿をそのまま掲載しています。

平成21年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	生涯学習の集いイン八王子 ～コーディネーター会創立五周年記念～		
団体名	八王子生涯学習コーディネーター会		
事業費	161,367円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的
	内容

創立5周年を迎えて、生涯学習コーディネーター会の活動成果発表の場とするとともに、八王子市民の生涯学習活動を推進しサポートする機会とし、広く市民に生涯学習への参加を呼びかけるチャンスとする。またこの機会を通して、市内の生涯学習関連機関、団体との一層の連携強化を図る。

5月29日の創立記念日に近い6月7日(日)に、日頃活動の拠点とするクリエイトホールの視聴覚室に、八王子市内の生涯学習を推進する機関、団体が一堂に会する場を設定し、市民参加の活動発表、学習情報提供、フォーラム、活動展示、市民講座等を一日集中開催方式で実施。

事業の活動実績	第1部「記念フォーラム：八王子生涯学習の活性化に向けて」参加65名
	第2部「パフォーマンスの集い」会場参加約50名 出場参加 45名
	第3部「笑いの大研究・真打落語」参加費による参加者63名、招待者3名

* パネリスト；市教委生涯学習スポーツ部次長、市教委学習支援課長、市市民活動支援センター長、センター元気代表、学園都市振興課長、コーディネーター会事務局長
* アドバイザー；瀬沼桜美林大名誉教授、司会；コーディネーター会会長
約1時間半にわたり、八王子の生涯学習の現状の報告と、推進策について活発な討議を行った。

* 発表内容「マジック&歌・癒しの玉手箱」「踊りと南京すだれほか」「尺八演奏」「ウクレレ演奏」「ゴスペルコーラス」「若返りうた講座」
歌あり、芸あり、踊りありで終始楽しい雰囲気の中に、日頃の学習、練習の成果が披露された。

コーディネーター会が2年ほど前から開催してきた市民講座『笑いの大研究』の集大成の場として、講座の指導に当たってきた市内在住の三遊亭圓塾氏を前座に、そして真打の三遊亭圓王師匠の登場により、この記念行事の締めくくりの催しとした。



事業の成果・効果	<p>一日集中開催方式による多彩な生涯学習イベントの展開により、八王子における生涯学習活動の全体像を浮き彫りにすることが出来た。</p> <p>第1部の「記念フォーラム」では、市内の生涯学習にかかわる機関、団体を代表するメンバーが一堂に会し、討議することで関連部門間の一層の連携を深めることが出来た。また第2部の「パフォーマンスの集い」では、第一部に登場した各機関、団体の推薦による市民サークルが出演し、日頃の活動成果を市民の前で発表することで、新たに学習参加のきっかけづくりに効果的であった。さらに第3部「笑いの大研究」は、市民講座として2年前にスタートした受講生のその後のグループ活動がここに実を結んだもので、継続的な学習活動の成果といえる。</p> <p>イベント当日の参加者には今回新たな情報を盛り込んで作成した「生涯学習相談・情報提供窓口ガイド」(別紙添付)を参加者全員に配布し、新たに生涯学習を始めようとする市民への情報提供を行った。</p> <p>今回のイベントには、府中市生涯学習ボランティア・悠学の会、学びサポート研究会さくらの森(町田・相模原)、あきる野市生涯学習コーディネーターの会、たちかわ市民交流大学などのメンバーも来場し、八王子の生涯学習の活動状況に対し理解を深める結果となった。</p> <p>八王子テレメディアも取材し、2回にわたって放映された。また開催に先立って「広報はちおうじ」「アサヒタウンズ」「ショッパー」各誌の記事掲載が市民の集客効果をもたらし、特に「ショッパー」の2度に亘る記事掲載が有効であった。</p> <p>当日、会場において来場者を対象にチャリティー募金を実施し、14,557円を八王子市社会福祉協議会に納入した。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 申請段階の事業規模は19万円程度としたが、その後の実施計画段階で支出の抑制をはかり、最終的には総事業費は16万円規模となった。
	その他、評価すべき点等	三つのイベントを集中開催で同時に実施するに当たっては、幾つか運営上の難題が予測されたが、全会員のパワーと知恵によって、当初の目標どおりの成果を上げることができ、当会のイベント実施能力の向上に大きくプラスした。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今回の実施結果を踏まえ、今後の展開としてより広域的な地域での開催、例えば川口、南大沢生涯学習センター分館や、各地市民センターとの協働開催(コラボレーション開催)等を推進する方向で検討をすすめる。</p>
---------	--

平成21年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	あなたもメディエーター。 円滑なコミュニケーションとわだかまりのない日々の暮らしのために		
団体名	草の根メディエーション(和解支援)の会		
事業費	118,174円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	問題があるときに、白黒・勝ち負けでぶつかり合う人間関係ではなく、お互いが心の部分に戻って問題に向き合うことをコンセプトにしたメディエーションの手法を紹介、家庭・職場・地域等で応用していただく。同時にメディエーターを養成し地域に貢献する組織を作る。
	内容 メディエーション(和解支援)紹介のための講座。実践、メディエーター養成、クールキッズ(子供による子供のためのメディエーション)プログラム作成。活動の仲間を増やすことに焦点を置く。具体的には会主催の講座開催と、講演・劇など、紹介できる場を積極的に開拓し宣伝に努める。

事業の活動実績	講座内容の充実と、より効果的なメディエーションの周知のために、当初予定では別々のものとしていた、入門編の講座とメディエーターは実際何をするのか紹介する講座、両方を合わせた内容として5回実施しました。また、結果的に参加者は大人ではありましたが、子どものためのメディエーション講座についても1回実施しました。以下は各講座の詳細です。
	第1回5月30日・31日 (八王子クリエイトホール) 参加者7人 アンケート結果:講座が役に立つ(5)わからない(2) ☆アサヒタウンズで写真入りで詳しく紹介していただいたことで反応が大きかった。
	第2回6月27日・28日 (八王子生涯学習センター南大沢分館) 参加者5人(再参加2):講座は役に立つ(5) ★チラシ以外の講座の開催宣伝の要領がうまくなく反応が少なかった。 ☆前の受講者がお友達を連れてリピートしてくださった。土業の男性がホームページを見て埼玉から参加して下さった。
	特別編(子供版の予定だった)7月30日 (八王子市民活動支援センター) 参加者1人 ★チラシも出遅れ、宣伝に失敗。参加申し込み無しで講座をキャンセルしたが、間際になって、「前は参加できなかったので今回は時間を開けて楽しみにしていた」という方があり、急きよ、場所を変え、セミナーとして実施。
	特別編(子供版の予定だった)7月31日 (八王子生涯学習センター南大沢分館) 参加者2人 ★30日同様宣伝に失敗。参加者が入会し支部組織を立ち上げるも、残念ながら3か月足らずで解散した。
	第3回10月20・27日 (八王子生涯学習センター南大沢分館) 参加者6人:役に立つ(5)分からない(1)インフルエンザ欠席が二人 ☆多摩ニュータウンタイムス・もしもしんぶんで講座情報を掲載していただき反応があった。 ☆「こうほうはちおうじ」の講座情報掲載を見て「相談は受けないのか」の問い合わせをいただきメディエーション実施。他にも同様の問い合わせがあった。
	第4回11月28・29日 (八王子クリエイトホール) 参加者5人(リピーター2人):役に立つ(4)29日欠席者の分は無
	第5回2010年3月21日 (学園都市センター) 参加者10人:役に立つ(8人)- 提出者8人 ☆経費節約(会場費)、会場取得、参加しやすいようにと考え今まで2日だったものを1日にしたのは正解だったようだ。 ☆講座開催情報の取得先が、広報やタウン誌だけではなく図書館や公民館に配布されるチラシであることも報われたよううれしかった。
	☆早速、「役に立った」のご報告がありうれしかった。 ☆二人入会。 ☆参加者から相談があった。



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>☆メディエーションはプロセスに意味がある。実践のためのトレーニングでも同じことが言えるのだが、参加者の反応と感想はそのことを裏づけています：</p> <p>当初言葉が思うように出ずワークに参加できなかった参加者さんが、二日目には笑顔になりワークにも普通に参加された。他にも実際に深刻な問題の渦中にいるという方から「楽になった」の言葉をいただいた。「身近な問題で早速試したら、うまく行った」とご報告もいただいた。</p> <p>☆全参加者35人のうち30の方が講座で学んだことは役に立つと回答。「紛争和解支援(メディエーション)」は必要だと認識されました。</p> <p>☆秋ごろからは「こうほうはちおうじ」の講座情報掲載を見て、相談の問い合わせをいただき実践。取りあえず問題は沈静化しました。他にも「相談を受けているのか」の問い合わせや実際の相談を受けた。市民の関心の高さを実感しています。</p> <p>☆最後の事業となった第5回3月21日の講座には定員(12人)以上の申し込みがあり(最終的には10人参加)、情報取得先は「こうほう・ショッパーズ・アサヒタウンズ・市役所や図書館などに置かれたらしから、と多岐に渡っていました。ちらしは効果がないと悲観的になっていましたが、打ち消せる反応(問い合わせなど)が出始めています。</p> <p>八王子住民の方の参加が少なかった中で、この第5回では10人中9人が八王子住民で、お二人が入会されました。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1-できた 2 概ねできた 3-あまりできなかった 4-ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3-あまりできなかった 4-ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1-ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3-大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 消耗品費：講座資料作成で予想以上にパソコンのインク代がかかった。 講座用備品：パネルを作る予定だったが結局拡大印刷した紙で間に合わせた。 会場使用料：最後の講座を1日にしたこと、参加者がお一人だった時に会場を無料施設に変更したことで、安めに収まった。
	その他、評価すべき点等	参加者の確保＝広報・宣伝だが当初要領が掴めず苦戦した。最後の講座では参加者はタウン誌2社、広報はちおうじ、図書館など市の施設に配布されているちらしで知った(数人)とのこと。今一つ参加者が集まらなかった中、思い切って二日の講座を一日にしたこともあってか定員以上の申し込みをいただいた。諦めずに繰り返したことが報われた思いでうれしかった。 市協働推進課のご理解とご支援については勿論のこと、「チラシをわかりやすくする」「組織運営の問題」などで八王子活動支援センターの助言をいただいた事、市民活動協議会の1pHP作成管理、エンツリーさんにバックアップしていただいたことには特に感謝したい。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>子供のためのピア・メディエーション：プログラム作成チームが充足した。某小学校の22年度水曜放課後活動の一環として各学期に一回採り入れる方向で話し合い進行中。残念ながらモデル校となるのは八王子市ではないが、実践に向けての第一歩として、今後の活動につなげられるよう尽力したい。</p> <p>(紹介・普及宣伝) 講座：第5回講座の結果を踏まえ、22年度の講座時期など再考する。八王子市民の新規入会者からPTA対象講座の可能性などの提案、母子サポート・グループからの依頼あり、さらなる宣伝の場の増加に尽力する。</p> <p>紛争和解(支援)相談室(地域相談員)：メディエーター(相談員)となる会員が少しずつでも増えていくことを期待し月一度の勉強会に力を入れる。紹介宣伝・メディエーター養成研修・実践(相談)を同時進行させて、バランスを取りながらの活動になります。</p>
---------	--

平成 21 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	ポレポジさぼーと		
団体名	ポレポジさぼーと		
事業費	226,255円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>発達障がいのお子さんを育てているお母さんの不安、とまどい、困り感に寄り添い、ともに考え知恵を出し合う。</p> <p>集団の中での学習の躓きを見取り、個別に焦点を当て、ゆっくりと学習し、自信をもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> この事業を通して、団体や活動内容の周知をはかる。
	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援を必要とするお子さんをもっているおかあさんの相談にのる。 特別支援を必要とするお子さんの学習支援をする。

事業の活動実績	<p>4月～7月 保護者の相談 6回 由木中央市民センター</p> <p>学習支援 12回 由木西小学校・鹿島小学校</p> <p>8月 夏季休業中寺子屋 2日間 由木中央市民センター</p> <p>9月～12月 保護者の相談 6回 由木中央市民センター</p> <p>学習支援 12回 由木西小学校・鹿島小学校</p> <p>1月～3月 保護者の相談 5回 由木中央市民センター</p> <p>学習支援 10回 由木東市民センター</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の相談では、延べ人数が58人。 学習支援の参加者が増えてきている。多いときは18人を超えることがあり、のべ293人の支援を行った。 補助金事業ではなかったが、教育委員会と共催で講演会を開き、80人を超える教師や保護者の参加があった。 明星大学星山研究室主催の夏休みの教師のための研修「特別支援を本気で学びたい先生のための講座」をお手伝いして、小中学校の先生方50人弱の参加者を集めた。 夏休みなどの長期の休業中に寺子屋を開催した。



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい児を抱えたお母さんの悩みや相談にスピーディにのることができ、お母さん方が元気になり、次の一步を踏み出せるようになった例が多かった。また、いき詰まっているお母さんが安心して本音で語り、涙を流して語るができる場になった。そのことによって、お母さんがこどもを本当の意味で受け入れることができるようになった例もある。 ・同じ悩みを持つ親同士が情報交換しながら、お互いが元気をもらいあう場にもなれた。 ・集団では、荒れてしまう子が、丁寧な個別学習により、学習の躓きを克服し、自信を持って学校生活に取り組めるようになった。 ・自信をなくし、自己肯定間が低かった子どもが、安心して受け入れてもらえる場として心をほぐし、表情が豊かになっていった。 ・相談にこられたお母さんと学校の関係を改善していくために、授業参観などをして、学校とも連絡を取ることができた。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ <input checked="" type="radio"/> 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) ・夏休みの教師のための研修が大學研究室とのいきちがよいにより、補助金事業としての実施にならなかった。 ・収支計画書にない出費が発生した。(見通しが甘い)
	その他、評価すべき点等	・全くのボランティアであり、持ち出すことも多かったが、支援者としての賛同者が少しずつ増えてきている。 ・ボレボジの支援を必要とする児童、生徒の人数が増えてきた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>今後は、退職教員に参加を呼びかけ、即戦力になる学習支援者を募っていきたい。 また、教育関係の仕事を考えている学生の研修の場として、参加を呼びかけていきたい。</p>
---------	---

平成21年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	要約筆記啓発講座		
団体名	八王子要約筆記サークルそらの会		
事業費	109,165円 ^レ	補助金額	100,000円 ^レ

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>中途失聴・難聴者への理解を広げ、その支援方法の一つである要約筆記のニーズや有効性を市民に周知するための「要約筆記体験講座」を開催する。そして専門的技術を身につけるための市主催の「要約筆記養成講座」受講へ繋げる。</p>
	<p>内容</p> <p>聞こえない人への支援方法は「手話」だけと思われているが、「要約筆記体験講座」を開催することで人生の途中で失聴または難聴になった方（中途失聴・難聴者）の支援方法である「要約筆記」が有効であることを啓発する。講座の中で中途失聴・難聴者の体験談を聞き、中途失聴・難聴者への理解を深める。実際に要約筆記を体験することでその特性を知り、技術習得のための講座受講へ導く。</p>

事業の活動実績	4月～5月	<p>第1回講座開催に向けて準備期間</p> <p>「要約筆記体験講座」受講生募集を市広報や市民活動支援センター便り、ショッパー等に掲載</p> <p>チラシ、ポスターを作成し、市民センター、クリエイトホール、図書館、手話サークル、ヒューマンケア協会、スーパーマーケットなどに配布</p>
	6月7日	<p>第1回「要約筆記体験講座」～筆談とノートテイク～ 開催</p> <p>アンケート実施</p> <p>21名応募内 18名受講、八王子中途失聴・難聴者友の会参加協力5名</p>
	7月～10月	<p>市の「要約筆記入門講座」協力支援</p>
	10月	<p>「生涯学習フェスティバル」に参加、中途失聴・難聴者への理解の周知、及び「要約筆記」の体験コーナー実施 参加者延べ100名</p> <p>アンケート実施</p>
	11月～1月	<p>第2回講座開催に向けて準備期間</p> <p>前回同様、チラシ・ポスターを作成し掲載、配布により、受講生を募集</p>
	2月7日	<p>第2回「要約筆記体験講座」～今私たちにできること～ 開催</p> <p>25名応募内 19名受講、八王子中途失聴・難聴者友の会参加協力10名</p> <p>アンケート実施</p>



要約筆記（ノートテイク）講習風景



マイ「筆談ボード」作成風景

事業の成果・効果	<p>*第1回「要約筆記体験講座」～筆談とノートテイク～ 「要約筆記」の方法の一つである「ノートテイク」は教育の場や病院、会議等での中途失聴・難聴者の支援に大いに有効な技術である。参加者は筆記体験を通して、筆談とノートテイクの違いを知り、その方法を学び、専門的技術習得のために継続した講座受講が必要であることを理解した。その結果、体験講座受講者の内6名が7月から開催された「要約筆記入門講座」へ申し込むという成果へ繋がった。</p> <p>また、10月には「要約筆記入門講習会」修了者から八王子で唯一の「要約筆記サークル」である当会へ、7名が入会するという効果もあった。現在一緒に要約筆記技術研鑽を続けながら一緒に支援活動をしている。</p> <p>*第2回「要約筆記体験講座」～今私たちにできること～ 今回の講座では中途失聴・難聴者の理解と支援をより身近に感じてもらえるよう、「筆談ボード」作りを講座内で行った。作成したマイボードを使って、難聴者と筆談体験を実施した。その結果、誰でもすぐにできる「筆談支援」の有効性に気付き、ボランティアを身近なものに感じてもらうことができた。また、「要約筆記」の方法の一つである「OHP」を使っての団体投影（講演会、会議等で情報を共有できる方法）を知り、実際に筆記体験をすることで、特殊な技術であることを学んだ。その結果、22年に開催予定の「要約筆記者養成講習会」受講を促すことができた。また、当日の参加者から4名が当会への入会を希望され、今後共に活動することとなった。</p> <p>*2回の「体験講座」開催は、当会の活動をアピールでき会員増に繋がった。 「要約筆記」啓発のために大変効果的であったといえる。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ <input checked="" type="radio"/> 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 会場が予約できなかったため、心身障害者福祉センターを使用した。 会場費としていた予算を筆談ボードの材料として使用した。
	その他、評価すべき点等	要約筆記の専門的技術の習得のために、22年度の要約筆記者養成講座が都と同じレベルの108時間講座となった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>騒音、病気、ストレスや高齢化により難聴者の人口は増加しているが、その支援は充分とはいえない。本講座を開催したことにより、参加者の反応は大きく、ニーズの再確認ができた。中途失聴・難聴者への理解と要約筆記の必要性の周知は今後も続けていくべき課題であると思った。「要約筆記者養成講座開催」とリンクしてその入口として「要約筆記体験講座」開催は必要不可欠のものと思っている。当「そらの会」は心身障害者福祉センターや当事者団体である「八王子中途失聴・難聴者友の会」と協力して、これからも聞こえない人の支援や「要約筆記」の啓発に努めていきたい。</p>
---------	--

平成21年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	地域ふれあい事業		
団体名	八王子地域ふれあい親子会		
事業費	108,172円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 ① 地域の大人と子供がスポーツや文化の体験を通してふれあうこと。 ② 居住地域や組織の垣根を越えて、誰もが参加体験できる機会の提供。 ③ 親子で参加のできる団体・組織を知ること、目に見えるコミュニティー作りと活発な体験活動のチャンスを作る。
	内容 ① 地域の大人と子供が共に体験活動を通して競い合い協力しあいながらふれあいを深める。 ② 地域で活躍するスポーツクラブ、子ども会・育成会と全市で活躍する学習支援委員や東京消防庁の事業協力により、「丸ごと出店」形式をとり、各団体・組織の活動紹介で目に見えるコミュニティーの第一歩を作る。

事業の活動実績	日時 ：平成22年3月14日(日) 実施 参加者 ：のべ 250名
	1) グランドゴルフ大会 (一般参加者49名とスポーツクラブ担当22名) 2) 木工工作作り (作品は写真参照) (50組参加) 3) 毛糸と廃材による、小物作り (作品は写真参照) (50組参加) 4) 紐を使った小物作り (作品は写真参照) (50組参加) 5) 昔遊び (ベーゴマ、折り紙、コマ回し、メンコ、ビー玉落とし他) 6) お手玉作りとお手玉遊び (50組参加) 7) 餅つき体験と試食 (30分をつき、きな粉、あんこ、大根おろしの3味試食) 8) 東京消防庁 (起震車・消火器訓練・ロープ訓練・防災訓練教育他) 9) スーパーボールすくい (100名) 10) お絵かきせんべい (160名) 11) ドッチビー的当てゲーム 12) ドッチビーゲーム 13) 地域情報コーナー (5中のクラブ紹介、定期演奏会案内、保健センターチラシ、地域商店のチラシ、大学生のショップのチラシ、子育てサークルのチラシ他) 14) 防災米の体験と試食 (250名) 15) すいとん作りと試食 (250名)



事業の成果・効果	<p>1) 当日はのべ250人の子どもや大人がつどい、地域の人や学習支援委員の指導のもと、スポーツや手作り体験を通してふれあうことができた。</p> <p>2) 組織の垣根を越えて、誰もが地域活動の体験をすることができた。</p> <p>3) 特に、日頃ふれあいの機会が少ない若い世代の参加が多くあったことは成果として評価できた。</p> <p>4) 事業参加した団体や組織を周知することができ、「目に見えるコミュニティ作り」の第1歩になった。</p> <p>5) 様々な世代の人たちが気軽に声をかけあえるような機会の提供ができた。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 材料費の予測が難しかった。 地域との連携をとることに時間を費やし、行事等の日程制限のためイベント自体を1度に集約し内容を集中拡大して行った。
	その他、評価すべき点等	① 地域の情報伝達が難しい中で活動をしている団体の提供、指導者の発掘に役立った。 ② 若い世代の家族参加が多く地域参加体験ができて良かった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	今回は初めてで手探りだったが、今後は関係者へのさらなる事業協力を呼び掛けていきたい。
---------	--

平成21年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	「家族で楽しむ物作り」体験教室		
団体名	特定非営利活動法人 建物相談室 五色会		
事業費	114,740円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 □「家族で楽しむ物作り」体験教室を通して、共同作業・人間関係・コミュニケーション等 また使用材料を通して自然と生活環境を考え、エコについても興味を持って考えてもらえること。 □事業を行うことにより、その折補助金で制作したパンフレットをお渡しし活動内容を説明すること により、参加者の皆様方に我々NPO法人五色会の存在と活動目的を理解して頂くこと。
	内容 光る泥ダンゴ作り・モザイクタイルコースター作り・手作り木工品 などの 体験教室を、できるだけ自然環境の良いところで開催します。

事業の活動実績	平成21年7月5日(日) 参加人数 21名 平成21年8月30日(日) 参加人数 17名 わらべうつき台保育園にて、「泥ダンゴ・モザイクタイルコースター作り体験教室」を開催致しました。 新型インフルエンザ及び会場の都合により開催回数は予定より減りましたが、 別々に開催予定だった物作り教室を同時に開催することにより、減少した開催回数を補いました。 今回、補助金を頂いたことによりパンフレットを500枚制作することができ 皆様方に我々の活動をお知らせすることができました。 私たちの考えである「作業を自然環境が良いところ(屋外)で開催する」ことは、 天候に大きく左右されるため、屋外での体験教室開催の会場・準備等には苦慮致しました 今年度の活動では、ボランティア活動協力員・教室指導員による、材料の無償提供、 会場使用料無料などの協力により活動出来た事を感謝しております。 8月30日の事業では、八王子市のケーブルテレビ「テレメディア」の取材をうけました。 定期定例会の開催(毎月第3火曜日)19:30～ 4月 参加者7名 活動事業の内容の精査及び予算組 5月 参加者8名 活動事業内容の段取り 6月 参加者6名 材料の確保状況・使用材料の性質などの講習 7月 参加者8名 反省会 8月 参加者8名 反省会 9月 参加者9名 写真など整理 意見交換 10月 参加者7名 エコな材料の講習および意見交換 11月 参加者8名 ホームページなど宣伝内容の意見交換 12月 年末繁忙期のため中止 H22 1月 参加者7名 22年度の活動内容の打ち合わせ 2月 参加者8名 会計報告および新建材の勉強会 3月 参加者6名 エコポイントの講習会

事業の様子または成果がわかる写真□



事業の様子または成果がわかる写真□



事業の成果・効果	<p>当会ホームページとチラシ配り及び、口コミによる宣伝活動でしたが、八王子市はもちろん市外からの多数のご参加があり我々、五色会の活動も年々注目されてきているように思います。</p> <p>ご参加くださった皆様の中には、「来年もやりますか?」「もっと沢山作りたい」「もっと上手になりたい」等のお声をかけて下さる方もいらっしゃって、どうにか開催回数を増やせないものか会員一同、定期的に行っている勉強会で話し合っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●昔ながらの土壁の材料を主材料にした光る泥ダンゴ教室 ●陶器を貼り合わせて作るコースター作り <p>建材をつかったものづくりを通して、ちゃんとした物つかった物作りの楽しみを体験して頂けたと思います。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた <input type="checkbox"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた <input type="checkbox"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ <input type="checkbox"/> 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 年度初め新型インフルエンザにより事業予定が一部中止になりました。 年度後半の会場予定にも不都合がでてしまい事業予定回数が少なくなりました。 但し2回に分けて行う予定だった事業内容(モザイクタイルコースター作り・光る泥ダンゴ教室)を同時開催することで、事業の予定回数が少なくなった分を補いました。
	その他、評価すべき点等	ホームページなどの宣伝効果があまり現れていないように思うので、来期にはもっと多くの人たちに参加して頂けるよう宣伝計画を練りたいと思います。

自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>来年度も、定期的に「泥ダンゴ・モザイクタイルコースター作り体験教室」を開催していく予定です。</p>
---------	---

平成21年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	発達障がいの子どもたちへの理解、啓発・サポート事業		
団体名	LD親の会「けやき」八王子自主活動グループ		
事業費	117,908円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>(1)LD等発達障害を持つ子どもたちの心の表現力を高め、コミュニケーション能力を高める。</p> <p>(2)地域において発達障害者の理解が進み、地域で支える体制を整えたい。</p>
	<p>内容</p> <p>(1)ワークショップを通して子どもたちの表現力を伸ばす。</p> <p>(2)発達障害を持つ子どもの親や一般の人に対して、発達障害への理解、啓発に繋がるようセミナーを開く。</p>

事業の活動実績	<p>6月20日(土) 親子向けのアートワークショップ開催</p> <p>テーマ 「アートで気持ちを開放しよう！」</p> <p>講師 相澤 るつ子氏</p> <p>場所 長池公園自然館 工作室</p> <p>参加者 大人13名 子ども15名</p>
	<p>10月3日(土) 講演会開催</p> <p>テーマ 「自立した社会人を目指して」～学童期からできることを考えよう～</p> <p>講師 中村泰子氏 市村たづ子氏 コーディネーター 海野千細氏</p> <p>場所 北野市民センター ホール</p> <p>参加者 99名</p> <p>八王子市教育委員会後援名義使用の承認をいただき、市内全小中学校に講演会のチラシを配布。その他、幼稚園、療育機関、親の会などにもチラシ配布。</p>



事業の成果・効果	<p>6月20日(土) 親子向けアートワークショップを開催しました。 クレヨンや粘土を使った活動を通して、自分の気持ちを自由に表現できる楽しい時間となりました。経験したことのないクレヨンや粘土の使い方を体験して、粘土をたたきつけるところは、親も子どもも気持ちを開放させることができました。</p> <p>10月3日(土) 講演会を開催しました。 参加者99名(保護者62名・学校関係者22名・その他3名・スタッフ12名) 82%が、八王子市在住在勤の方々でした。アンケートの回収枚数は61枚で、そのうち大変良かった・良かったという感想は58枚ありました。 八王子市教育委員会の後援をいただいたことで、より多くの市民の方々にこの講演会のことを知ってもらい、同様の活動を行っている団体、行政及び関係機関との連携も計れました。 参加者は6歳～13歳ぐらいまでのお子さんを持つ保護者が多く、将来に向けて見通しが持てるような講演会となりました。保護者、学校関係者、教育委員会が、発達障害を持つ子どもたちの将来の自立のために共通理解を深め、連携できるような一体感を感じることができました。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 講演会の講師の謝礼やチラシの印刷代を節約し、その分をスタッフ等にかかる、打ち合わせやイベント当日の交通費にあてました。
	その他、評価すべき点等	保護者だけでなく、家庭支援センターや教育関係者との交流の場となったのが良かったと思います。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>八王子市で、発達障がいへの理解を広め、様々なニーズに応える。</p> <p>親支援と子ども支援に役立つ活動をしなが、親同士の連携をはかる。</p>
---------	--

平成21年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	パフォーマンスママ「レインボーズ」		
団体名	パフォーマンスママ「レインボーズ」		
事業費	161,069円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 子育て中など普通の主婦の集団が、ボランティアでパフォーマンスを行うことにより、表現する喜びや楽しさ伝え、「人と人とのふれあい」「地域のふれあい」を大事にし大人も子供もすべての人の心を元気にし、笑顔になれる活動をする事
	内容 マジックショー・手遊び・ペープサート・オリジナル劇が中心で見ている人も一緒に参加できるような『表現』と『コミュニケーション』をテーマにボランティアパフォーマンスを行っています。

事業の活動実績	通常公演 「桃太郎と魔法のカブ」というオリジナル劇を中心の30分～40分の公演 8月21日 石川家庭支援センター 9月15日 わらべうつぎ台保育園 9月25日 グリーンルーム(デイサービス) 9月30日 愛光大和田保育園 10月16日 わらべ保育園 11月24日 中野保育園 (「ぼくらの八王子」の普及活動開始) 11月24日 南大谷児童館(低学年対象) 12月1日 カシュカシュ 12月19日 南大谷児童館(親子対象) 12月25日 ツクイデイサービス小宮 2月4日 石川保育園 2月24日 清水小学児童保育所 3月5日 クリエイト親子ひろば 『ぼくらの八王子』普及活動 11月28日 ひよどり山音楽祭(十小) 2月4日 由木児童館 2月6日 ウィンターフェスティバル(一中) 2月13日 食育シンポジウム(クリエイトホール)
	講演 1月13日・20日 都立片倉高校一年生(ボランティア活動を知る) 2月16日 カシュカシュ(ステキわたし時間) 春休み特別公演 3月29日 北野市民センターホール



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>レインボーズは、夫人が笑っていれば子どもだって楽しくなる！「この街に笑顔の花を咲かせよう！」と、2007年に立ち上げ、昨年度から市民企画事業補助金を交付していただき2年目となりました。</p> <p>今年度はオリジナル劇中心の施設公演以外に、ボランティア活動のについての講師や谷口國博さんプロデュース&作曲・ファンキーモンキーベイビーズ作詞の歌って踊れる 新八王子ソング「ぼくらの八王子」の普及活動を行いました。</p> <p>そして、今まで施設での公演が中心だったので、いつも応援してくれている方々に活動を見て欲しいと思い、北野市民センターホールにて「春休み特別公演」を行いました。</p> <p>特別ゲストにボードピリアンやまけいじさん・友情出演の八王子のヒーロー「ゲンキダー」・手話通訳をしてくれた「手話シュワーズ」、照明をシアタープロジェクトの井村さんなど、他にも大勢の人のご協力を頂き、「春休み特別公演」は290名満席で、大成功に終わりました。</p> <p>私たちは・・・「テクニク」などありません！全身タイツを着た「クレイジーなおばちゃんたち」です。ただ「心から楽しんでる」「一生懸命楽しんでる」「本気で楽しんでる」人は、「本物・本気・一生懸命」に・・・心がうたれると思います。</p> <p>普通の主婦の私たちですが、自分にできることを見つけ、人に喜ばれることで、「自信」を持つことができました。</p> <p>アンケートからも、「何かやってみたくなった」とか「元気になった」など前向きなコメントが多くあります。</p> <p>メンバーも増え、公演依頼も増え、サポート会員の問い合わせも多くあるので、レインボーズの活動は、「笑顔とパワー」を届けられているとおもいます。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ②概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 実施計画にはなかった「春休み特別公演」をおこなったので、謝礼や会場使用料がかかった。
	その他、評価すべき点等	新八王子ソング「ぼくらの八王子」の普及活動に貢献できたこと、特別公演を行ったことにより、応援してくれてる人に見ていただけたこと、サポート会員の希望者が増えたこと

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>補助金のおかげで、活動準備ができ、多くの場所で公演を行うことができたことを感謝しています。</p> <p>これからも『形には残らないけど、心に残るプレゼント～出逢い・笑顔・わくわく～』をコンセプトに一人でも多くの人に楽しんでもらい笑顔になってもらえるような「あたたかい活動・心ある活動」をしたいので、賛同・応援してくれるサポート会員を募集して各施設の公演を中心に、時々大きな会場での公演を行う予定です。</p>
---------	--

平成21年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	「高尾山の花名さがし」花図鑑出版		
団体名	高尾山の花名さがし隊		
事業費	1,253,756円	補助金額	400000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>ホームページの花図鑑を本に再編成して販売する。この本を使用してハイキングしながら花名を教えたり、調べることを通して高尾山の自然に親しんでもらう。</p>
	<p>内容</p> <p>1. 1冊で高尾山の主な花をカバーする。花の種類420種</p> <p>2. ハイキング中に見れるようにポケットに入る大きさ、重さにする。</p> <p>3. 和名、漢字名、外国人案内に便利な学名を入れる。3種入っているのは高尾の本で初。花名を覚えるのに便利なチェック欄を入れる等工夫する。</p>

事業の活動実績	<ol style="list-style-type: none"> 10月29日「高尾山の花名さがし」発売 11月3日～8日 出版記念写真展開催 カラーのチラシ配布 入場者約600名、期間内の本の購入者252冊 12月21日 「高尾・陣場ファンクラブ」にチラシ同封依頼 1月20日 増刷決定[1500冊] 1月23日 市内メーカーのOB会で講演会実施(液晶PJ使用) 2月16日 増刷印刷上り 3月1日 啓文堂駅構内高尾店にピラ貼り依頼 八王子以外の人へのPRと拡販 3月3日 Twitterへの書き込み開始 販売実績 八王子市内書店販売 約600冊、直接販売 約320冊、市外 約200冊出荷 寄贈 約100冊(小学校20冊、図書館10冊、国際交流協会5冊他)
---------	---

事業の様子または成果がわかる写真①



新書判80頁 952円

フルカラーポケット判

事業の様子または成果がわかる写真②



事業の成果・効果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高尾山の花に興味を持っている人が多く、「高尾山の花名さがし」に協力して頂いたメンバーのロコミで、写真展、講演会に多くの人に参加した。 2. ミニコミ誌（朝日タウンズ、ショッパー）と市の補助のブランド力が販売に大きく貢献した。 3. 校正、編集、イラスト作成、モニター、写真店等での多くのライター組の力が大きかった。 4. 通常の1/5くらいの低コストでの出版ノウハウをつかんだ。 5. 写真展への今後の要求が多かった。 6. 今回専門家の本も間違いが多いのに気がついたが、増刷までユーザーからの間違いの指摘がないのは奇跡に近い成功だった。 7. 5年くらいはかかると思っていた販売が2カ月で増刷になった。書店在庫分も代金を出版社に支払いしてもらい増刷につなげた。朝日新聞に広告も出して頂いた。一部は流通を通じて八王子以外、インターネット販売も実施されている。地元の出版社に頼んだことが正解だった。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<input checked="" type="radio"/> ① できた ② 概ねできた ③ あまりできなかった ④ ほとんどできなかった 主な理由（③、④と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input checked="" type="radio"/> ① できた ② 概ねできた ③ あまりできなかった ④ ほとんどできなかった 主な理由（③、④と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ <input checked="" type="radio"/> ② 多少の変更があった ③ 大幅に変更している 主な理由（②、③と答えた場合のみ） ロコミ、マスコミ報道などで販売が好評で増刷になった。
	その他、評価すべき点等	ポケットに入る事とデザインが好評なこと、チラシが目立つなどでメインの市場に受け入れられた。地元の出版社に頼んで成功だった。大幅な低コストで出版できるノウハウをつかんだ。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	今後も「高尾山の花名さがし」の本と年1回の写真展の機会を通じて高尾山の花のPRをしていきたい。
---------	---

平成21年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	「ふるさと歴史カルタ」制作とふるさと意識の醸成		
団体名	ふるさと歴史の会		
事業費	¥707,607円	補助金額	¥275,000円

事業の目的・内容	目的
	内容

近年次第に消えていく歴史的遺産、特に庶民のくらしや地域の名所旧跡などの歴史的事象を「ふるさと歴史カルタ」という形で表現し、大人も子どもも楽しみながら歴史に関心をもち地域活性化を進められるよう喚起し支援していきたい。

「ふるさと歴史カルタ」を制作し、多くの人に頒布（販売・寄贈）する。また、地域や各種団体等で活用できるように支援したり、大人と子どもが交流できるよう啓蒙したりする。カルタ大会や説明会などを開催する。

事業の活動実績	<p>① 平成21年4月から毎月1回の定例検討会を開き（前年10月から引き続き）、9月まで「カルタの文と絵」と「活動方針」について話し合った。</p> <p>② 「ふるさと歴史カルタ」が、10月中旬に完成し、販売と寄贈を開始した。 〈販売〉購入希望者への販売・ふるさと歴史の会員が直接販売・電話での申し込みに対応・市のイチョウ祭りと中散田町会の文化祭で販売した 〈寄贈〉市関係・近隣小学校・近隣中学校・近隣高等学校・近隣町会・新聞社・お世話になった方・日野市立図書館等に寄贈した</p> <p>③ カルタ会や説明会を行なった ・八王子市立きみた小学校サタデースクールでカルタ会（11月） ・中散田町会の「寿康会」と「サロンけやき」でカルタ会と話（1月） ・八王子市立横山第二小学校と散田小学校の3年生に話（2月）</p> <p>③その他、各種団体や学校、各家庭などでカルタ会をしたり、カルタや説明書などをもとに話し合いに花が咲いたという情報が多数入っている</p>
---------	---

八王子市立散田小学校での話（三年生）



「サロンけやき」でカルタ大会



事業の成果・効果	<p>①11月、「ふるさと歴史カルタ」の完成と同時に、多くの新聞(9紙)に取り上げられ、関心の高さを感じたとともに、情報が三多摩一帯へ広がっていった。</p> <p>②市への補助金申請の時点では、製作数500個でどうかと考えていたが、だんだん関心が高まり、900個に増やした。しかし、1ヵ月も経たないうちに不足し、さらに、250個増やさなければならぬ程の盛況だった。</p> <p>③昭和時代前半までの歴史(特に庶民の暮らし)に興味を持つ高齢者が多く、八王子市以外の市からの注文も多かった。カルタを媒介にして、集まった人たちでひと談義花が咲いたり孫と楽しんだりできたという情報も多数あった。</p> <p>④カルタの内容は八王子・横山地区中心であったが、多摩地域だけでなく、当時の世相に共通するものもあって、遠くの土地の人にも興味や関心を抱かせた。</p> <p>⑤小学校では、3年生の総合学習・社会科学習で、むかしの道具とカルタを使いながら説明したが、具体的で理解しやすかったようで、熱心に学習していた。</p> <p>⑥カルタは、簡単な文と絵で構成されているので、親しみやすく、ゲーム感覚で大人でも子どもでも、一緒にも楽しめるところが人気の基である。さらに、当時の状況を知らない世代でも解説書を付けたので、理解し易かったようである</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ <input checked="" type="radio"/> 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>カルタの製作数を大幅に増やさなければならず、制作費が増えた。検討会・説明会等の印刷費がかかった。</p>
	その他、評価すべき点等	<ul style="list-style-type: none"> ・ ほとんどボランティア活動であったが、会員全員、和気あいあいと検討会や諸活動を遂行できた。 ・ このような活動が貴重であることを体験・認識できた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種団体、地域、学校などで、機会を捉えてカルタ会や説明会などを行なう。 ・ 八王子市や地域の歴史を掘り起こして資料を作り、活用できるようにする。 ・ 資料は、地域住民が関心をもてるようなものを工夫し、その土地に愛着をもてるよう“ふるさと意識”を醸成する ・ 大人が親しめる、子どもが親しめる、両方で親しめることを考えて活動する。
---------	---

様式9 (1枚目)

平成 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	デイジー図書の作製		
団体名	南大栄音記の会「こども」		
事業費	206,275	円	補助金額 10,200 円

事業の目的・内容	<p>目的 録音図書制作は、テープ録音からデジタル(CD)録音へと急速に変化している。八王子市では視覚障害者に対し、日常生活用具給付制度対象品としてPTR2(デジタル図書を開く機材)が支給されている。そのニーズに応えるため、2011(概23)年から、日本点字図書館が完全にデジタル化する意向を醸成し、早い時期にデジタル図書を提供した。この事業を企画した。</p>
	<p>内容 デイジー編集のための機材を購入し、プロジェクトチームを中心に研修をする。1年を3期(前期・中期・後期)に分け、前期は機材の扱い方を中心に研修、中期は講師を招いての研修、後期は試作品を作り上げる、という計画を立てた。</p> <p>他の会員に対しては、全体研修を行うことで、状況を知らせていく。</p>

事業の活動実績	<p>・DR-1(デジタル録音機) CFカードを使用している録音が、これまでのテープデッキでの録音同様スムーズにできるようにするのが目標。取扱説明書から研修し、テキストを使用しながら録音方法を研修。他の会員へ扱い方を知らせることができるようになってきた。</p>
	<p>・PTR2 デジタル図書を開くためのもの。録音・編集も可能。扱い方の研修からスタート。録音・校正・編集と互いに協力しながら活動(研修)を進めた。</p> <p>DR-1, PTR2の研修についての活動回数と参加人数は、前期9回・97名、中期8回・20名、後期4回・54名で、合計すると31回・171名となる。(全体での研修は1回)</p> <p>・講師による研修 8月に実施。上記2種の扱い方を中心に、疑問点を出し合い研修。質問にはわかりやすく対応していただき、かなりの成果があった。プロジェクトチーム5〜6名参加。全日研修。</p> <p>なお、試作品のデジタル図書はPTR2編集において4〜5冊できあがった。</p>



事業の成果・効果

- テイジー図書製作
DR-1、PTR-2の機能を習得することによって、テイジー録音及び基礎的な編集が可能となり、テイジー図書の依頼にたえられるようになった。
その結果、より高度なパソコン編集に移行できるようになった。
テイジー編集を得意とする他団体で数名が1年間継続して学び、編集技術の向上に努めた。会員のテイジー図書製作への意欲がわいてきている。
- 試作品について
PTR編集、パソコン編集を含め、10タイトルほどのテイジー図書ができていくっている。
- デジタル機器の必要性
テープからCDへと変化していくことが避けられない。今、音録図書作製のためには、さまざまなデジタル機器が必要である。声のボランティアとしての立場は、今後テイジー図書を作製することが絶対条件である。
- きまやすい図書づくりをめざして
よりきやすいテイジー図書の作製が目的(目標)。現在は手こたえを感じている。未来、明るく伝えている。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	テイジー図書の作製が、予想以上の速いペースで可能となった。 プロジェクトチーム個々の努力はすばらしかった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	テイジー図書作製は、プロジェクトチーム員に関してはかなり浸透した。 今後、チーム員以外の会員への働きかけをすること、テイジー図書作製のための編集用パソコンとその周辺機器が必要のため、助成金申請も考えながら、多くのテイジー図書を作製していきたい。 より多くの目的不自由な方(高齢で読むことが困難な方も)に、テープ図書と同様な、いせ それ以上の情報をテイジー図書を作製することにより、提供していきたいと考えている。
---------	--